

たべる

# 食から発想する 佐木島の観光振興ストーリーづくり

研究開発成果報告書

県立広島大学  
MBA（経営専門職大学院）

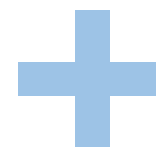
百武 ひろ子

田中 浩子

吉川 成美

江戸 克栄

露木 真也子



一般社団法人  
三原観光協会

# 1 佐木島の概要と課題

## プロフィール

- ・ 日本一新幹線駅から近い離島：三原駅から三原港へ徒歩で5分、そしてフェリーで約25分
- ・ 周囲 約18.2 km 標高250m 人口776人 429戸 高齢化率57.4% (2015年3月31日現在)
- ・ 名産品：柑橘類、ワケギ（日本一の生産量）、メロン
- ・ 観光資源、特徴：塔の峰千本桜、トライアスロン、八十八カ所お大師めぐり、海浜セラピー、砂浜ウォーク、広島県「おもてなしアワード2013」受賞の「さぎしまを愛するボランティアガイド」、島民100名が活動する「元気さぎしま協議会」

橋がないため**航路の維持**が島の生活を支える死活問題

航路の維持のためには住民の増加だけではなく**観光客数の確保**が必須条件

トライアスロンの実施や特産のみかんを使った商品開発、

海浜セラピーなど**新たな試み**を行っているが

豊かな地域資源とやる気とおもてなし力のある島民がいるにも関わらず

それぞれが**バラバラ**であるために十分その**ポテンシャルを発揮できない**

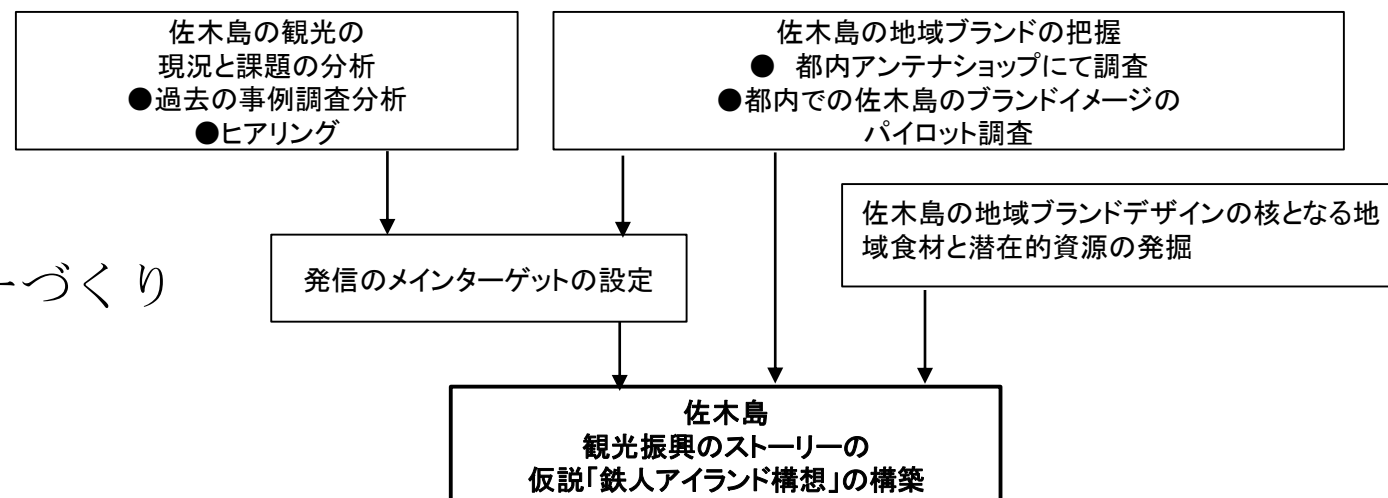


『あるモノから発想するのではなく、あってほしい**コト**をデザインする』  
 佐木島に行って、こんなコトがしたいな～をデザインする

## 2 研究内容

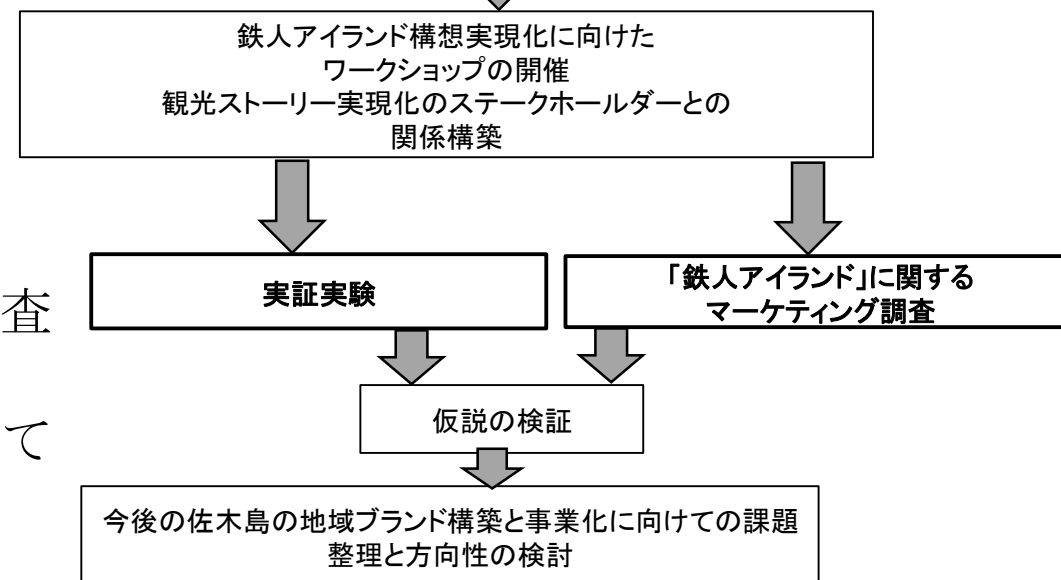
### 平成28年度 研究内容

1. 佐木島のポテンシャルの把握
2. 食（たべる）に関する基礎調査
3. 市民・企業と協働する観光ストーリーづくり



### 平成29年度 研究内容

1. 鉄人アイランド構想実現化に向けたワーク  
ショップの開催と観光ストーリー実現化のス  
テークホルダーとの関係構築
2. 実証実験
3. 「鉄人アイランド」に関するマーケティング調査
4. 仮説の検証
5. 今後の佐木島の地域ブランド構築と事業化に向けて  
の課題整理と方向性の検討



# 3 平成28年度 研究調査内容

## (1) 首都圏（一部関西地域含む）を対象にした島観光ニーズ・アンケート調査

アンケート母数

回答者数 199名（内首都圏 187名 関西圏12名）

女性143名 男性55名 不明1名 10代27名 20代155名 30代2名 40代5名 50代5名 60代4名 70代以上1名

アンケートまとめ

- 首都圏での広島訪問経験20%、瀬戸内海の島への訪問経験10%と少なく、  
**認知度も低い。**
- 一方、関西圏では、広島訪問経験がある人がほとんどで半数の人が  
瀬戸内海の島に行ったことがある。  
(ただし、関西圏アンケート対象者の平均年齢の方がかなり高いことも考慮に入れる  
必要がある)
- 瀬戸内海の島に行ってみたいと思っている人の割合は**86%**と高い。
- 瀬戸内海の島に期待する最も大きな要素は「**食**」であり、半数以上の人  
が期待している。  
次いで「自然にふれる」こととなっている。
- 食としては、特に海鮮、魚介といった**海の幸**に最も期待している。

## (2) 類似先進事例研究から得られた佐木島への示唆

- ① 豊島：香川県 人口946人 面積15km<sup>2</sup> 飲食店数 15 観光客数57,900人 (H.22)
- ② 直島：人口 3143人 面積14 km<sup>2</sup> 観光客数637,376人 (H.22)

- 直島、豊島ともに「アート島の島」として知られている。  
雑誌やインターネットにも印象的な島の景観が掲載され「行ってみたい」という気持ちにさせられる。  
これらの島は、瀬戸内国際芸術祭期間外でも多くの観光客を集めている。



アート作品にもなっている豊島の「島キッチン」は予約がないと2時間待ちの人気

→

島旅のガイドブックをみても佐木島について載っていない現実。

佐木島は何の島？

佐木島ならではの行く気にさせる風景は？

- 島の玄関口でもあり、滞在時間も長い港周辺の魅力アップが大事
- 観光客が楽に自由に島内を移動できる移動手段が必要  
ex) 電動自転車、島バス等
- 島ならではの食事が島旅の一番の魅力



直島では、飲食店が急増。「直島」を冠した食が島のあちこちで見られる。

### (3) トライアスリート インタビュー調査

- 佐木島をトライアスロン等のトレーニングの場としていくことについてどう思うか？  
大変よいと思う  
ぜひ合宿でつかいたい！
- そのためには何が必要か？  
太平山の登山道の整備  
コースでの距離表示 スイム練習ができる場所  
合宿できる施設（宿泊施設）  
島民の理解と協力 ルールの整備（バイク練習等の届け出等）
- 他のトライアスロン大会に学べること  
愛媛県愛南町 トライアスロン大会の後夜祭が楽しみ



# 4 『鉄人アイランド構想』の提案

## 島おこしの基本的視点

これまでの島のイメージ・ノウハウを生かす  
バラバラな試みを1つのストーリーに集約して  
もっと力強い発信力を  
イベントがなくても人が来る島

### これまでの試み

トライアスロンの長い歴史

歩く・走る・泳ぐ・漕ぐ

トライアスロン、マラソン、海浜セラピーなどの  
「身体をつかって島をまるごと体感する」ことを  
テーマにしたイベントの実施

イベント実施によって、イベント時には  
来訪者が増える  
イベント時以外には人が来ない  
→雇用を生む産業にならない

特産のみかんを使ったブランド開発

瀬戸内海の島々ではどこでも柑橘類をつくっている。  
みかんは、瀬戸内海だけでなく静岡、和歌山、九州など  
産地も多く区別化が難しい。他にない柑橘が欲しい。

日本初・世界初

## 鉄人アイランド構想

トライアスロンやマラソン、水泳などの  
トレーニングができる・合宿できる島

ここに来る(住む)だけで元気になる島

アスリート食・元気活力食 | パラリンピアン

トレーニングの専門家が移住したくなる島へ

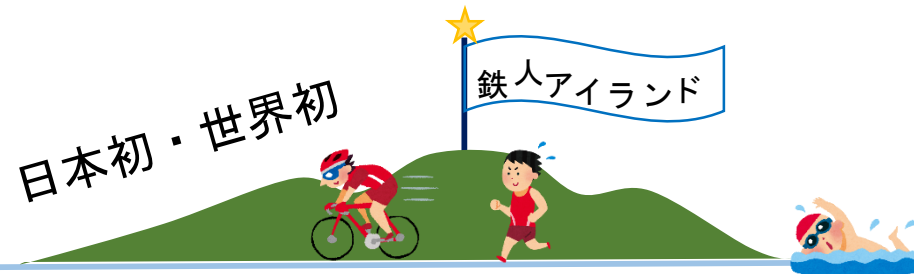
いつ来ても鉄人アイランドと「目に見える」

東京五輪の事前合  
宿地に立候補! ?

## 無農薬国産ライム、鷺ライム

鷺ライムをトレーニン  
グのシーンに組み込む

鷺ライム  
スペシャルドリンク



瀬戸内海の島々ではどこでも柑橘類をつくっている。みかんは、瀬戸内海だけでなく静岡、和歌山、九州など産地も多く区別化が難しい。他にない柑橘が欲しい。

わたしたちは「**鉄人アイランド構想**」を提案します！  
 トライアスロン競技の三種目（**RUN・SWIM・BIKE**）のトレーニングができる島をつくります。  
 既存の施設等を使って合宿などを誘致し、いついってもトライアスロンに親しめる  
 本物の鉄人も鉄人になりたい人も鉄人に程遠い人もいるだけで「元気になる」島を目指します。

＋鉄人ライム



【なぜ「鉄人アイランド」なのか？】

島の伝統と誇り

佐木島トライアスロン大会は、全国的にも知られる歴史を誇る大会  
 島民の皆さんがトライアスロンという競技をよく知っていて、大会運営のノウハウもある  
 佐木島では、トライアスロンに限らず、エコマラソン、100kmハイク、海浜セラピーなど「身体をつかってまるごと島を体験する」イベントを多く行ってきている。これらのイベントと連携を図り、イメージをさらに高めていくことができる。

社会環境の後押し

トライアスロン人口が急激に増えている。しかもその中心が40代で今後の増加も期待できる。  
 ⇔しかし、それにともないトライアスロン大会も急増している。このなかで一步抜け出ることが必要。  
 東京オリンピックが2020年にせまり、オリンピック競技となったトライアスロンへの関心がさらに高まる。

強烈なインパクト

日本にも世界にも「鉄人アイランド」と名乗る島はひとつもない。世界初、日本初をうたうことができる。

コスト安

既存の宿泊施設を使えば、ほんの少しの投資(工夫)で実現可能。  
 太平山の登山道の整備、1 kmごとの表示、屋内バイクラック等の設置(トライアスリートへのインタビュー調査から)  
 目にみえる「鉄人アイランド」は一般観光客にとっても新たな魅力

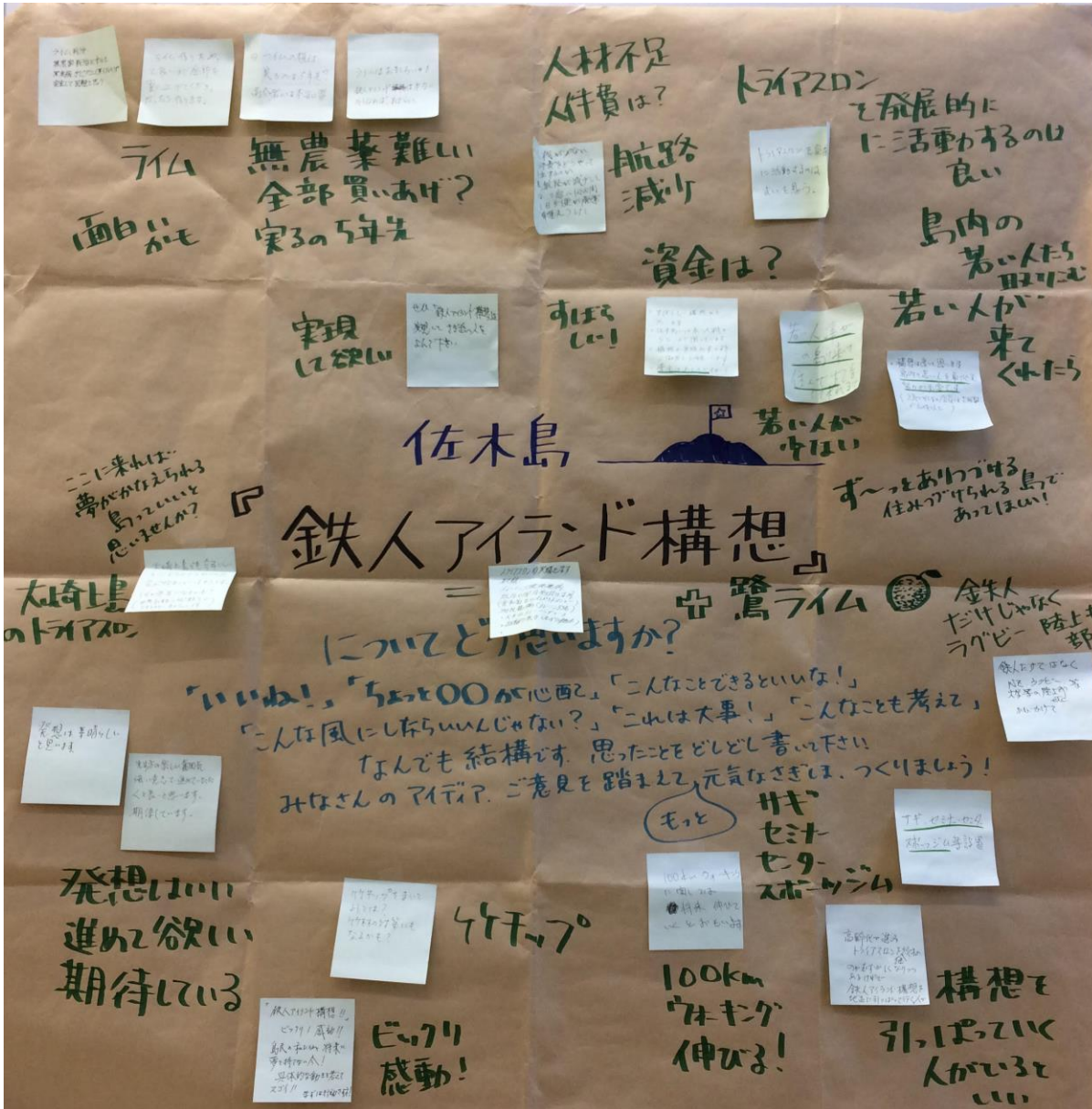
一方で、島の静かでおだやかな生活と両立するための工夫(ルールづくり)も必要！

＋アスリート食

島外のスポーツ関係の栄養士、トレーナーなど若い専門家の関心が高まる！  
 雇用ができれば、移住者の増加も期待できる。雇用が生まれて初めて持続可能な島が出来る！



# 参考) 『鉄人アイランド構想』の提案に対する島民の声



## 元気さぎしま協議会での島民の方々の声

2016年10月18日(火)

- 是非「鉄人アイランド構想」を実現して、さぎ島に人を呼んでください。
- トライアスロンを発展的に活用するのはよいと思う
- 「鉄人アイランド構想！！」ビックリ！ 感動！！島民の私たちが夢を持ってない今！具体的な動きを考えてスゴイ！！まずは行動ですね！
- 若い人たちがこの島に住んで来てくれること
- ライムはおもしろいかも！鉄人アイランドは本当にそうなればすばらしい
- すばらしい構想だと思います  
佐木島に若い人材が少ないので困っています  
構想が実現できるようご協力をお願いします  
資金はあるのですか？

他多数



日本トライアスロン連合、広島県トライアスロン協会の協力を得ながら、アスリートと島民が協働する合宿型ワークショップ形式で「鉄人アイランド構想」をつくりあげていく  
→この一連の動き自体を1つのムーブメントとして育て、島おこしを行う

引き続きライムの商品化、ブランド構築を模索する

# 5 平成29年度研究調査

## (1) 鉄人アイランドワークショップの進め方

ワークショップ企画・運営者

鉄人アイランドコア会議



三原市民

佐木島民

「鉄人」に関  
心のある人々  
食・医療・ア  
スリートギア

トライアスリート

ワークショップ対象者

### 1 CONCEPT

トライアスリートをはじめ、多くの人々の本構想に対する関心を高めながら、構想づくりにユーザーを巻き込むことによって、より効果的な「鉄人アイランド」の実現化計画を策定する。このワークショップ自体を1つのムーブメント、情報発信の方法として捉える。

### 2 PROGRAM



第1回コア会議



第2回コア会議



第1回 鉄人アイランドの種探し



第3回コア会議



第2回 鉄人アイランドの実現化計画



佐木島トライアスロン大会  
鉄人アイランド構想告知イベント



第3回 鉄人アイランド拠点のあり方についての基本方針

## (2) 第1回ワークショップ:鉄人アイランドの種さがし

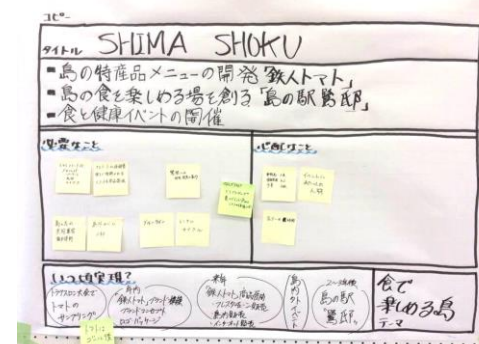
- 1) 開催日時 2017年4月15日 13:00~16:30
- 2) 場所 鷺浦コミュニティセンター (三原市佐木島)
- 3) プログラム

佐木島の食材 (わけぎ、柑橘) を使ったランチ試食  
鉄人アイランド構想概要説明と自己紹介  
鉄人アイランドの種さがしとアイデア出し



### <ワークショップで出された提案>

- エイドステーションの設置
  - ・ トライアスリートの補給食・バイクラック・有料ロッカーの設置
  - ・ 温水シャワー、トイレ・エイドステーションを含めたトライアスリートのためのマップづくり
- アスリート食 ・ 鉄人トマト、鉄人ライムのブランド化・アスリート応援フーズ・カフェ 鷺邸の活用
- レンタサイクル・鷺港でのレンタサイクルの設置
- 宿泊 ・ サギセミナーハウスの改善・活用 ・ 民家、空家の活用
- トライアスリートのハード整備 ・ 距離表示 ・ 自転車専用道 ・ スイムコース
- 子どものためのプログラム ・ 自然体験プログラム
- 情報発信 ・ トライアスリートが発信するSNSサイト ・ 大会中継



## (3) 第2回ワークショップ：鉄人アイランドの実現化計画

- 1) 開催日時 2017年7月30日(日) 13:00~16:30 13:30受付開始
- 2) 場所 鷺浦コミュニティセンター(三原市佐木島)
- 3) プログラム

第1部 ミニレクチャー「アスリートのためのパフォーマンスを上げる食事」  
小椋真理 氏(京都文教短期大学准教授)

第2部 グループに分かれて実現化に向けたディスカッション  
運営主体をどう組織するかについて検討



### <ワークショップで出された提案>

#### 鉄人ブランド開発と食の魅力アップ

- ・ トマトとライムのスペシャルドリンク
- ・ ライム酢(クエン酸)、鉄人トマト(果実)を企業と共同開発

#### プログラム開発とさぎしまセミナーハウスの活用

- ・ アスリート向けプログラムの充実(トレーナー、食事等のサポート)
- ・ アスリート家族向けプログラムの充実

旅行業者、観光協会との連携による実現化 マーケティング調査の必要性

#### トレーニングのためのハード整備

宿泊施設整備、トレーニング施設整備(ロッカー、休憩、更衣室、シャワー、ウェットスーツ乾燥、バイクラック、エイドステーション)、トレーナーの確保  
新事業体を組織化(営利化)し、民間事業者が主体となって進める



## (4) 第3回ワークショップ：鉄人アイランド拠点のあり方についての基本方針

- 1) 開催日時 2017年11月28日(火) 13:00~16:15
- 2) 場所 サギ・セミナー・センター (三原市佐木島)
- 3) プログラム
  - サギ・セミナーセンター見学とコメント
  - 鉄人アイランドの拠点としての活用の具体策の検討
  - 運営主体、運営方法についてのグループディスカッション



### <ワークショップで出された提案>

#### 鉄人アイランド構想拠点としてのサギ・セミナー・センター

##### ■アスリート向けの改装

- ・トライアスロンを意識した内装
- ・屋内バイクラックの設置、トレーニング・ルーム
- ・トレーナーの養成施設 (マッサージ)

##### ■大人を対象にした宿泊施設のレベルアップ

- ・個室 (シングル・ツイン) の拡充
- ・浴室・トイレ等のリニューアル
- ・もう一度行きたいと思わせる食と食堂の充実

##### ■日帰りアスリートへの対応

- ・ランドリールーム、シャワールーム、ロッカーの設置

#### ターゲット設定について

トライアスリート (富裕層を含む) ・ファミリー向け (観光客、一般)

## (5) トライアスリートのニーズに関する調査

- 1) 調査目的 佐木島「鉄人アイランド構想」事業化に向けて、トライアスリートのニーズを探索的に把握する。
- 2) 調査日時 平成29年8月20日(日)午前
- 3) 調査対象 佐木島トライアスロンに参加するトライアスリート 112名
- 4) 調査方法 佐木島行きフェリーにて、質問紙を配布して回収
- 5) 調査結果の概要

### ① 回答者のプロフィール

年代で見ると40代が全体の約36%と最も高く、次いで50代の24%、30代18%と続く。

性別は、圧倒的に男性が多く全体の94%近くを占めている。71%の人が既婚。

居住地は、広島市が最も高く29%、次いで三原市が22%となっている。

これらの人々を含む広島県内居住者は71%となっている。県外では、岡山県が約11%

### ② チーム・グループでのトレーニング

8割が「重要である」と回答。（「重要である」が最も多く、「非常に重要である」は21%）

合宿参加については、「年に1回未満」（13%）、「年に1回」（7%）が続く。

### ③ 佐木島でトレーニングができるために重要な要素

最も重要な要素は「シャワー」で、次いで「食事施設」、「休憩施設」、「更衣室」、「ロッカー」、「バイクラック」、「医療、救急施設」、「エイドステーション」、「宿泊施設」という順番となっている。

### ④ 佐木島利用意向：佐木島が重要な施設が整備されたら利用してみたいか

「そう思う」が最も多く45名（40%）、次いで「非常にそう思う」が34名（30%）、

「ややそう思う」28名（25%）となっている。

## (6) 佐木島トライアスロンWEB需要調査

- 1) 調査目的 本調査は、佐木島のアスリート向け合宿地誘致に向けての基礎データの収集を目的とする。
- 2) 調査日時 **2018年3月7日～3月22日**
- 3) 調査対象 広島県在住**18歳以上**男女で、回収数は、**8,917名**
- 4) 調査方法 インターネット (Web) 調査
- 5) 調査結果の概要 (数多い質問項目から重要なものを抜粋)

### ① 佐木島の認知度

佐木島の認知度は、48.4%が「名前も知らなかった」と回答し、「名前だけ聞いたことがある」が26.9%、「知っていて、実際に訪れたことがある」は8.5%にとどまっていた。

### ② スポーツの試合・大会、合宿、遠征の頻度

合宿に参加している人が全体の3.2% (282)、遠征に参加している人が全体の4.6% (412)

注) 合宿：大規模なチーム、クラブでのスポーツのトレーニングに行くこと 遠征：個人や少人数でのトレーニングに行くこと  
備後都市圏の人口607,767人 (2015年度) から推定すると約28,000人が遠征に参加することになる。実際には、商圈はより広く、広島市も商圈に含まれると考えられるのでより多くの潜在ターゲットが存在すると想定される。

### ③ 合宿、遠征に参加する場合の希望の期間

合宿、遠征とも「2日間」が最も多く約30%、次いで「3日～5日未満」の約25%、その次に「1日のみ」が続く。

### ④ スポーツの合宿、遠征地を決める際、参考にする情報

合宿、遠征とも「インターネット」が最も多く約40%、次いで「口コミ」が約15%→ネット情報の充実が重要

### ⑤ 一度の合宿、遠征にかけられる費用

合宿、遠征とも一人あたり「1万円～3万円未満」が最も多く約4割近くを占めている。

# 6 平成29年度研究調査のまとめ

## (1) 鉄人アイランド構想の基本方針の提案

### ① 目的

佐木島をトライアスロンを中心にしたSWIM,BIKE,RUNのトレーニングができる島にすることによって、  
年間をとおしてアスリートおよび家族が訪れる島とし、新たに雇用を生み出すことで、島の持続性を高めていく。

### ② 主なターゲット

- ・初級者から中級者のトライアスリートを主な対象とする。将来的にはトライアスリートの家族も一緒に訪れるように整備する。
- ・個人およびグループでの利用者を呼び込む。
- ・日帰りの利用、1泊から2日-3日の滞在を中心に考える。

### ③ 整備の基本方針

- ・全島まるごとをトレーニングができるサイトとして整備するとともに、サギ・セミナー・センターを鉄人アイランド構想の拠点として位置づけ、重点的に整備を行う。
- ・トマト、ライムなど新たな島の食材のブランドとアスリート食メニューの開発によって、島の新たな「食」の魅力を創造する。→トマトについては既に鉄人トマトとしてフレスタより販売



#### ④ 整備の具体的内容

##### ＜佐木島全島での整備＞

- ・RUN、BIKEの練習ができるよう島の周回道路に距離表示（向田港スタート）を行う。
- ・太平山のトレイルコースをトレーニングに活用できるように再整備する。
- ・サギ・セミナー・センター、向田港、鷺港等、主要施設にバイクラック、エイドステーション、トライアスリート用の地図表示等を設ける。

##### ＜サギ・セミナー・センターの拠点整備＞

- ・従来の運営方式を全面的に見直し、宿泊予約システムを含めた再構築を実施する。
- ・日帰りのトライアスリートにとっても、島内でのトレーニングの拠点となるような整備を行う。  
ex)シャワーの設置、ロッカーの整備、更衣室の設置、トイレのリニューアル、WiFiの整備、  
屋内バイクラック（有料）
- ・長期的には、宿泊施設としての現代にあった水準に引き上げる。  
ex)個室（シングル、ツイン）の増設、魅力的なレストラン・カフェへのリニューアル
- ・トライアスリート向きプログラムの開始（トレーナー養成プログラム、アスリート食講座・・・）
- ・トライアスリート家族向けプログラムの開始

## (2) 鉄人アイランド構想実現化に向けての提案

鉄人アイランド構想は、雇用を生み出す事業として提案するものであり、**将来的に本構想を担うのは民間企業、市民**である。しかし、その**スタートアップ**には、**三原市や観光協会の働きかけが重要な役割**を担っている。

現在、佐木島ではさまざまなレベルのまちづくり、活性化計画が試みられている。これらの試みはバラバラであり、このままでいくと本構想も数ある計画のひとつとなることを危惧する。

真に実現化を考えていくなれば、島民も交えた委員会を三原市が設置し、佐木島の活性化策として**オーソライズ**し、島民にも認知を図っていくことが必須となる。

**先行できる事業（島内案内表示等）については実施**し、鉄人アイランドの機運を醸成することが有効である。

同時に、鉄人アイランド構想を担い手となる市民および民間企業のネットワーク構築を積極的に行うことで、構想の主体者を育成することも実現化には不可欠である。

# 参考) 実現化スケジュール案

